

亀岡市新火葬場整備構想

～亀岡の人と自然が見送る安らぎの場～



亀岡市新火葬場整備検討審議会

平成30年4月

目 次

はじめに	1	5	コンセプト	14~17
1 亀岡市営火葬場の現状把握	2~5	6	新火葬場の整備内容	18~23
・ 現火葬場の維持管理状況	3	・ 新たに整備する設備内容		18
・ 京都府内の火葬場の現状把握	4	・ 外構・庭園等の整備		19
・ 人口動態による将来の火葬需要	5	・ 施設整備の留意・配慮項目		20
2 先進地視察	6~9	・ 新たな整備を検討する設備イメージ		21
3 アンケート調査	10、11	・ 新火葬場の機能		22
4 次世代ワークショップ	12、13	・ 新火葬場の動線		23
		7 新火葬場の整備場所について		24~29
		8 事業計画時の配慮・留意事項		30
		9 審議会の取組み		31、32
		※亀岡市新火葬場整備検討審議会名簿		33

はじめに

亀岡市新火葬場整備検討審議会（平成26年亀岡市条例第35号に基づく）は、平成29年3月28日に第1回審議会が開催され、「平成10年3月に余部町丸山の地において新火葬場の都市計画決定がなされ、その後、約20年が経過する中で、亀岡市の状況も大きく変わってきており、これまでの火葬場建設に係る経過を踏まえながらも、現在の社会情勢に即した火葬場の建設場所及び施設規模並びに内容について意見を求める。（要約）」という、市長の諮問を受けて、これまで、先進地視察を含めた8回の審議会やアンケート調査、さらには、次世代ワークショップを開催してまいりました。審議会の25名の委員をはじめ、幅広い地域、幅広い世代の参加者が、熱い思いで、新火葬場整備の骨子となる「新火葬場整備構想」の議論を重ね、火葬場の建設場所及び整備内容について再検証してきたところです。

その結果、現亀岡市営火葬場の経過・現状や京都市内の火葬場の実態等を踏まえながら、今後の少子高齢化・人口減少社会の進行等、社会経済情勢の変化、また、それに伴う「家族のあり方」、「ライフスタイル」の変化、さらにそこから派生する、「葬送観」の変化といった将来的なニーズを考慮する中で、火葬場を中心とする周辺エリアも含めた葬送のあり方について、その根幹となる考え方を「亀岡市新火葬場整備構想」として取りまとめることができました。

この構想が、新火葬場整備の考え方の骨子となって、今後、基本計画策定へと引き継がれ、人が人生の終焉を迎えるに当たり必ず利用する「火葬場」が、故人や遺族にとって、各々の葬送観を充たし、心を癒す空間が創造できる火葬場建設へとつながっていくことを期待するところです。

また、都市計画決定から20年。様々な議論と共に時が流れました。今、火葬需要の増加や「葬送観」の変化等を背景に、改めて新火葬場整備のニーズが高まっています。これらのニーズと整備時期との整合性を図りながら、この答申が、市民の要望を受けとめた新火葬場整備の実現性を高める、大きな牽引力となることを願うところです。

平成30年4月4日

亀岡市新火葬場整備検討審議会
会長 榎村 久子

1 亀岡市営火葬場の現状把握

亀岡市営火葬場は市役所の南約 800m の市街地に近い場所に位置し、昭和 31 年に設置され、火葬炉 2 基で運営。平成 7 年 9 月に施設利用の増加により火葬炉 1 基を増設している。

その後、施設の経年的な劣化や老朽化から、平成 12 年度、平成 13 年度に改修。そして平成 23 年～平成 26 年にかけて機能更新工事を実施し、現在に至っている。



〔施設の概要〕

位 置	亀岡市下矢田町五反田 34-1
名 称	亀岡市営火葬場
敷地面積	504.00 m ²
建物構造	鉄骨一部二階建
延床面積	405.69 m ²
施設内容	収骨室 1 室、待合室 2 室 (25 名、10 名)、火葬炉 3 基
駐 車 場	普通自動車 10 台、マイクロバス 2 台
火葬開始時刻	10 時 (死産胎盤のみ)、11 時 30 分、12 時 30 分、13 時 30 分、14 時 30 分、15 時 30 分または 16 時 30 分



◆現火葬場の維持管理状況

○火葬の状況

- ・稼働日 364日／1年(1月1日を除く)
- ・火葬炉数 3基
- ・使用料 市内15,000円、市外60,000円

○火葬件数について

平成24年～平成28年における年間の平均火葬件数は、808.8件であった。その内市外の利用者は、58.4件／年平均で、全体の7.2%となっており、毎月約4.8件の利用があることになる。

(火葬件数)

年度	市内 (件)	市外 (件)	火葬件数 (件)	死亡者数 (人)	使用率 (%)
H24	768	52	820	855	95.9
H25	747	56	803	791	101.5
H26	705	53	758	774	97.9
H27	769	56	825	817	101.0
H28	763	75	838	—	—
計	3,752	292	4,044	—	—
年平均	750.4	58.4	808.8	—	99.1

○運営状況

- ・運営形態 亀岡市直営(所管：環境政策課)
- ・火葬時間 約2時間(火葬、冷却、収骨)

※1,000℃を超える火葬を行うため耐火煉瓦等の消耗度が高い

○施設の状況

- ・修繕 毎年度、必要に応じて維持管理を実施(火葬炉耐火煉瓦等修繕)
- ・大規模修繕 平成35～平成37年度に大規模改修(火葬炉設備)を要する

◆京都府内の火葬場の現状把握

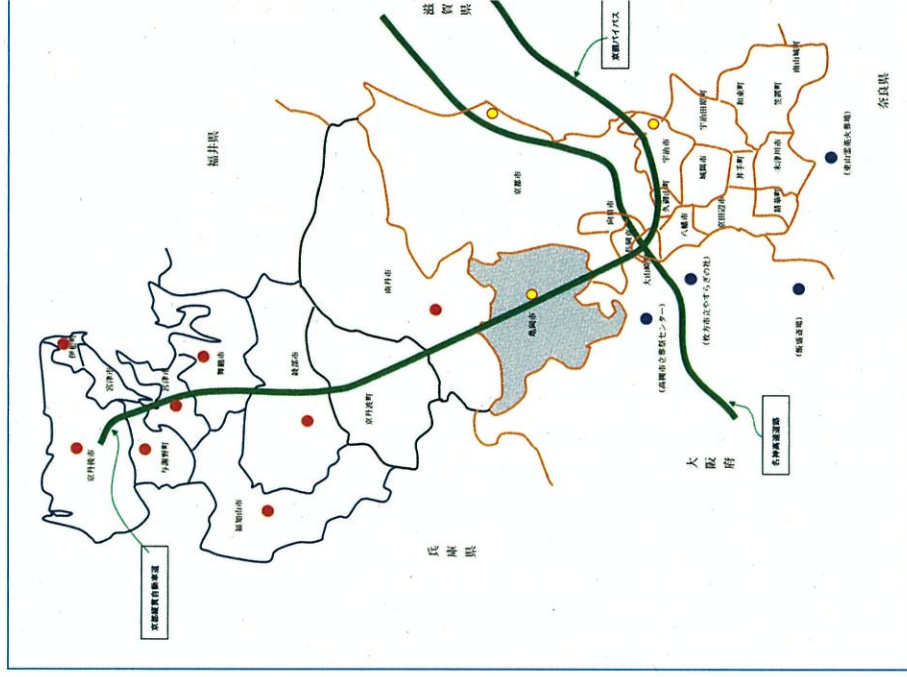
京都府内の火葬場の現状を把握する。

○火葬場の設置市町

京都府内の火葬場の設置状況では、亀岡市以北は各市町で設置されているが、亀岡市以南は、京都市、宇治市のみが設置されている。本市以南の市町の利用状況については、火葬場未設置の市町のほとんどで京都市又は宇治市の火葬場を利用されているが、隣接する大阪府や奈良県の火葬場を利用されている場合もあるようである。また、亀岡市の火葬場については、近接する市町から市外利用されている。今後、京都縦貫自動車道等のアクセス道路の整備により本市への利便性が高まり、京都南部地域の市町からの利用を見込むことができるのではないかと考えられる。

○広域化の検討

火葬場整備に際して、周辺市町との一部事務組合等の広域連携による整備の必要性について検討がなされたが、新火葬場の整備スケジュールとの整合や、広域化の調整期間、施設の整備規模等の判断が困難な面等を考慮し、広域連携については、検討を行わないこととし、京都縦貫自動車道全線開通等の交通アクセス利便性向上による広域利用の観点で検討を行うこととする。



(京都府内 斎場・火葬場位置図)

◆人口動態による将来の火葬需要

亀岡市の人口動態による死亡者数から、将来の火葬需要を予測する。

○将来の火葬需要の検討

人口動態により死亡者数を予測し、将来の火葬需要の検討を行った。表3によると、平成39年に死亡者数が1,100人を超え、平成47年のピーク時には1,147人に及ぶことが予測される。これは、平成28年の火葬件数838件(P3:表1)に対しては、約1.42倍に増加することになる。

また、火葬需要については、平成38年に「6.1件/1日」となり、現火葬場の火葬炉の運転容量を超える日が出始めることが予測されている。

○火葬炉数の検討

現火葬場は、火葬炉3基で運用しているが、上記のとおり、今後増加が予測される死亡者数や火葬需要の増加を考慮すると、火葬炉3基での運用が難しく、市民ニーズに答えられない状況となる。

(亀岡市人口)

年	人口	死亡者数	死亡率
平成22年	93,790	783	0.83%
平成23年	93,393	764	0.82%
平成24年	93,140	855	0.92%
平成25年	92,472	791	0.86%
平成26年	91,910	774	0.84%
平成27年	90,694	817	0.90%
平成28年	90,315	957	1.06%
平成29年	89,577	967	1.08%
平成30年	89,123	989	1.11%
平成31年	88,668	1,002	1.13%
平成32年	88,214	1,023	1.16%
平成33年	87,611	1,034	1.18%
平成34年	87,008	1,044	1.20%
平成35年	86,406	1,063	1.23%
平成36年	85,803	1,073	1.25%
平成37年	85,200	1,082	1.27%
平成38年	84,481	1,098	1.30%
平成39年	83,762	1,106	1.32%
平成40年	83,042	1,113	1.34%
平成41年	82,323	1,120	1.36%
平成42年	81,604	1,126	1.38%
平成43年	80,785	1,131	1.40%
平成44年	79,966	1,136	1.42%
平成45年	79,146	1,140	1.44%
平成46年	78,327	1,144	1.46%
平成47年	77,508	1,147	1.48%
平成48年	76,618	1,142	1.49%
平成49年	75,727	1,143	1.51%
平成50年	74,837	1,145	1.53%
平成51年	73,946	1,139	1.54%
平成52年	73,056	1,140	1.56%

※亀岡市人口、国立社会保障人口問題研究所データ参照

先進地視察

- ・日 時：平成29年8月29日（火）
- ・視 察 先：①筑紫の丘斎場11:00～



- ・日 時：平成29年8月29日（火）
- ・視 察 先：②篠山市営斎場15:00～

○火葬場参考事例の研究

<p>いたわりと敬意</p>		<p>祈りと奥行き</p>	
<p>故郷の景色に帰る</p>		<p>光と水のセレマトリー</p>	
<p>故人を森の中へ送る</p>		<p>馴染みある火葬場へ</p>	
<p>風景の中に佇む静けさと厳粛さ</p>		<p>静けさと自然に帰る</p>	
<p>心の情景を創る</p>		<p>心の情景を創る</p>	

火葬場の分類

しずかの里



広島市西風館



弘前市斎場



さざなみ浄苑



金山町火葬場



(非分離・一体型) A

B (収骨のみ分離型)

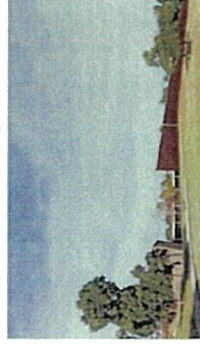
(告別のみ分離型) C

D (収骨・告別分離型)

篠山市営斎場



風の丘斎場



今治市火葬場



本資料では該当なし

筑紫の丘斎場



瞑想の森

